

みんなのギカイ

12月の市議会の内容をわかりやすくお知らせします



目次

議案……………P 1～
一般質問………P 4～
ごみ処理について…P 6
きかせて!あなたの未来
……………P 7

● 12月定例会 ●

宇陀市のこんなことが 決まりました。

12月定例会 12月5日～12月22日
今回の議案は

市長提出議案… 17件
議員提出議案… 3件

計20件

今号では
この中から
4つを
Pick up

全ての議案名と結果は、議会事務局
にお問い合わせて下さい。

Pick up 1

太陽光発電設備設置事業の
適正化を目指します。

太陽光発電設備の設置にあたり、市民の生活環境と事業との調和を図るため、事業面積500㎡または、発電出力50kW以上の事業を行う場合、事前に市長への届出が必要になりました。

こんな意見が出ました

Q この条例でどのようなことを定めるのですか。

A 住民生活環境保護を重点に、事前の事業規模や内容について、事前協議や地域住民への周知と説明、市長への届出義務を定めています。

Q 条例違反に対する処罰や、事業中止、改善勧告はありますか。

A 処罰や事業中止は規定されていませんが、届出や事前協議、住民説明等を怠った場合、改善勧告や業者の氏名公表を定めています。

Pick up 2

地域への防犯カメラ設置に
新しく補助をします。

防犯対策として地域より要望がありました防犯カメラの設置のための補助を行うことになりました。

こんな意見が出ました

AQ 防犯カメラ設置補助の経緯と目的について9月初旬から榛原地域において車のタイヤ連続損壊事件が、また、10月に入って民家などへの原因不明の不審火が発生しました。消防団や自治会、地域の方々が自ら防犯見守りなど対策をされています。今回の事業は、地域からの要望分として自治会やまちづくり協議会の申請に対し防犯カメラ設置を補助します。市も早急の対策をと不特定多数が行き来する駅前、道の駅など主要施設に防犯カメラを設置しました。

AQ 現在の要望状況については、これまでに連合自治会より設置要望がありました。

公の施設の指定管理者が決まりました。

● 道の駅「宇陀路大宇陀阿騎野宿」は、今期に引き続いて奈良交通株式会社^{（株）}が来期も選定されました。指定期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間です。

こんな意見が出ました

AQ 今回は何社からの応募がありましたか。
奈良交通株式会社1社だけでした。

AQ どのような提案がありましたか。
周辺施設及び重要伝統的建造物群保存地区である松山地区との連動した経営で、地域への貢献および県内や全国からの誘客に意欲的に取り組みたいということです。

AQ 納付金はどうなっていますか。
定額納付金500万円、及び利益納付金として経常利益の20%を市に納付していただきます。



● 道の駅「宇陀路室生」は有限会社室生ふるさとセンターに決まりました。

「有限会社室生ふるさとセンター」は道の駅管理運営のために設立された法人で、設立目的がこの施設の設置目的が密接であり、設立からの経緯をふまえ引き続いての指定管理者として指定されました。
指定期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間です。



● ワールドメープルパーク（カエデの郷ひらら）は特定非営利活動法人宇陀カエデの郷づくりに決まりました。

こんな意見が出ました

AQ 今期より経常利益の20%を市へ納付することになったのは何故ですか。
以前より指定管理者と協議を続けてきた結果、市に貢献できる様な施設になっていくという努力目標の形で決まりました。



AQ この施設だけ指定管理期間が5年間です。3年間にしなかつた理由は何んですか。
3年間ですと短期間で採算をとる必要があります。地域密着型施設の運営は、施設の魅力向上や施設経営の中での設備投資などの計画を立てやすくするために5年間が良いと考えています。

AQ 公募をせずに、指定管理者を選定しています。なぜでしょうか。
運営にはカエデの維持管理など高度な専門性が求められます。当該法人はノウハウを蓄積しており、かつ構成員の大多数が市民です。地域活性化に熱意を持って取り組んでおり、地場産業とのつながりも強固です。総務大臣表彰も受賞しており、実績を高く評価しています。

公募をせずに、指定管理者を選定しています。なぜでしょうか。
運営にはカエデの維持管理など高度な専門性が求められます。当該法人はノウハウを蓄積しており、かつ構成員の大多数が市民です。地域活性化に熱意を持って取り組んでおり、地場産業とのつながりも強固です。総務大臣表彰も受賞しており、実績を高く評価しています。

台風21号・22号の被害からの復旧・復興に向けて補正予算を承認しました。

10月22日、29日に襲来した台風21号、22号は家屋の損壊など甚大な被害を宇陀市にもたらしました。

被災をされた皆様にはお見舞申し上げますと共に、一日も速い復旧・復興に向けて、一丸となって努力してまいります。

台風の被害を受けて政府は11月27日に台風21号による農林業被害について、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づいて、激甚災害と指定し、「平成二十九年十月二十一日から同月二十三日までの間の暴風雨による災害についての激甚災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」を交付・施行し被災した自治体に対して財政的援助を行うことを決定しました。

市では、12月定例議会に提案しては間に合わない復旧事業予算については、市長が議会の事後承認を必要とする専決処分を行い、速やかな復旧に向けて事業を進めています。併せて、更なる復旧・復興に向けて補正予算を提案し、市議会は専決処分による予算執行と補正予算を承認しました。

こんな意見が出ました

Q 避難所に避難された方の中に、自宅にすぐに戻れない方も含まれていたと聞きます。避難所は台風通過後に閉鎖されましたが、もう少し配慮をしても良かったのではないですか。

A 今回の避難所運営について精査をした上で、今後の運営については見直しを検討します。

Q 被災をされ自宅に住めなくなった方への支援はどのようになっていますか。

A 公営住宅を1年間提供します。3ヶ月間は家賃は頂きませんが、それ以降は、火災による被害者支援と同じように家賃を減額して支援をしていきます。

● 大震災クラスの災害時には復興住宅として2年間無償で住宅が提供されます。大震災並の対応を求めます。

Q 農道林道のうち、生活道路とみなすことが出来る道路は市が責任を持つて復旧すべきではありませんか。

A 市の条例では、農道林道については関係者に一部負担金を頂く場合もありますが、対応については検討していきます。



給食センターの今後について

Q

公共施設等総合管理計画において平成32年度の開業を目処に移転及び新設予定とのことですが進捗状況及び、現在の直営での運営の続行についての考えをお聞きます。



まつうら りくこ
松浦利久子議員

A

具体的な建設予定地などはまだ決まっています。子ども達に安心安全な給食を提供するために建て替え場所や施設内容について保護者の方々や議会、関係する方々への情報提供をし、30年度に「新給食センター建替えに伴う基本構想」の策定業務を進めたいと考えています。学校給食については地産地消のメニューを通じて食文化や農業等を理解し地域の生産者さん等、給食に関わっている人たちへの感謝の心を育み、今回の全国学校給食甲子園大会準優勝という結果に現れている様に教育効果があると考えています。そのようなことを踏まえ、今後は直営も含めた様々な運営形態の検討を進め総合的に検討してまいります。

● その他の質問事項

子ども・子育て支援を充実する施策について

宇陀市通学路交通安全プログラムについて

Q

大宇陀小学校の通学路となっている西山交差点の安全対策について。



にしおかひろやす
西岡宏泰議員

A

西山交差点につきましては色々と提案を頂き、現地を観察し協議を重ねてきた。しかし、当分の間は道路改良、橋の架け替え等のハード事業ではなしにソフト事業に重点をおくという方針である。

Q

ソフト面に重点をおく事業とはなにか。

A

児童そして、保護者の交通安全教育も含めて、しっかり指導していきたいと考えている。交通量の多い路線ではないが、通学路、歩行者優先の認識のもと、児童が橋の上を通行中は配慮できるような手段を検討していきたい。

● 要望事項

通学路には危険な箇所が沢山あります。目線を変えて、安全で安心な整備を宜しくお願いします。

一般質問

聞いてみたい
こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

「台風21号による被害状況、対応状況及び今後の復旧」について

Q

台風21号の影響で発生した宇陀市内の被害状況及び、その対応状況と今後の復旧予定について、お聞かせください。



やまもと ゆうき
山本裕樹議員

A

市内の被害状況は、建物被害が61棟、文化財被害が2件、公共施設被害が4件、道路被害が352カ所、河川被害が145カ所、土砂災害が867カ所、農林被害が612件、水道被害が15カ所、通行規制が50カ所となっており、災害への対応要領としましては、「宇陀市災害時タイムライン」計画に基づき、台風が襲来する前日より、順次、警戒体制を強化しながら、職員244名を以って災害の対応に従事致しました。被災された皆様には、少なくとも、現行の被災者支援制度に基づく支援を、あらゆる窓口を通じて対応しているところです。生活環境等で、ご不便をおかけする時間が長くなっていますが、職員一丸で復旧復興に取り組むことはもちろん、災害被害により、本当に困っている方のための、より良き支援策等も、今後さらに検討してまいりたいと考えます。

がん検診の受診勧奨の強化について

Q

高齢化の進む宇陀市において健康長寿で暮らしていく為に、がん対策は必要不可欠で、中でもがん検診の受診率を上げていく事が大事です。特に、40代、50代の受診率を上げていく事が課題で今後教育委員会との協力、連携が重要と考えていますが、どのようにお考えでしょうか。

A

(健康福祉部) 働き盛りで、健康に対する意識がそれ程高くない未成年の子どもを持つ親の世代に対しても、教育委員会等の多方面から協力をいただきながら受診率向上に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

(教育長) PTA等の協力を得ながら、保護者への講習会や親子学習会等を担当課と連携しながら40代、50代の方々への啓発活動に協力をお願いすることも成果を上げる方法とも考えています。

● その他の質問事項

災害への更なる意識啓発の取り組みについて



いたにけんじ
井谷憲司議員

安心して老後を過ごせる介護保険制度について

Q

2015年より介護サービス利用時の負担が増えています。また2017年からは、要支援の人たちに係る事業が一部市の新総合事業に移行されました。これらの影響額はいくらですか。

A

自己負担割合が2割になった方は171人おられ、施設サービス費が2年間で約2000万円減少しています。施設利用者の食費と居住費の負担限度額認定証の発行も81人減少し、2年間で約200万円減少しています。要支援の方の「訪問介護」と「通所介護」を今年度より市の総合事業として実施し、対象者数は237人で月額200万円の減少となっています。

Q

自己負担の増加で、市の公費負担が減少したのだから介護保険料の引き下げによって高齢者に還元してはどうですか。

A

概ね良好な財政運営であり、ある程度保険料上昇の抑制は可能ですが、次期保険料は将来を見据えた運営ができるよう介護保険運営協議会で審議し、決定します。



やぎかつひこ
八木勝光議員

宇陀市の雇用について

Q

雇用施策の現状について

A

現在の雇用情報の紹介、発信は、ハローワークや商工会と連携した求人情報の提供に留まっているのが現状です。

Q

行政としての雇用対策への積極的な取り組みについて

A

雇用問題は、基本的に雇用主と求職者の問題であり、雇用主の求める従業員の条件と求職者の求める労働の条件が合致してはじめて雇用が生まれます。そのため、行政がどこまで関与していくべきか難しい問題であり、今後検討していくべき問題ではありますが、市として行えることは、市内の雇用の場を減らさぬよう努めると共に、市内事業者を支援し産業の活性化に努めることにあると考えております。そのための施策として、現在、美榛苑に代わる宿泊事業者を誘致する事業に取り組んでいる他、市内事業者を応援すべく、宇陀チャレンジアシスト補助金や施設改修補助等、新たな施策として行っているところ です。



ひろざわたくひで
廣澤孝英議員

用途を無くした公共施設の活用について

Q

宇陀市内の施設統合や閉鎖などによりすでにその用途を無くした施設の現状と、今後の有効活用の取組みの状況を示されたい。

A

人口減少にある本市の公共施設等総合管理計画に今後の方針を示しています。役目を終えた未活用の遊休施設は27施設あります。公有地活用事業化は、市の重要施策であり、地域住民の意見を聞き、「公有地事業化検討委員会」の審議と並行し「政策調整会議」で調整しながら施設の改修・解体の検討や予算化、事業化の方向を定めていきます。

● その他の質問事項

来年度から制度変更される国民健康保険事業の奈良県単位化について



きくおかちあき
菊岡千秋議員



台風21号の被害について

Q

衆議院総選挙投開票日と重なって二分された職員の配置への責任者としての腐心



ただよしろう
多田與四朗議員

された点は?県内の50%以上を占める被害件数は?現場確認を通じて責任者の見た被害の特徴は?国の激甚災害指定を受けながらも除外された農地の状況と今後の対応について?今回の災害を教訓として平時の総点検の必要性を強く求む!!

A

災害本部体制1の時点で244名による対応で、状況の整理と現場対応をムダなく行う指揮命令システムを時間帯による職員数の増減を想定し、その都度見直しながらの対応であった。被害状況は、土木施設関係被害415か所、被害額約10億円。農林業関係被害612か所、被害額約6億1300万円。長雨後の大型台風による大雨災害で、地すべりや山の表層崩壊、家屋裏山の崩落などで復旧に時間を要す。また、激甚災害指定を受けたとはいえ、査定要件は厳しく認可に満たない災害復旧は個人負担となる。申請→査定→事業承認となれば国庫補助率90%以上となる。

サテライトオフィス誘致について

Q

都市部のICT企業を中心に自然豊かな地方にサテライトオフィスを設ける流れが



かついたろう
勝井太郎議員

できつつあります。徳島県神山町がその先駆けとして有名ですが、今は徳島県内の多くの自治体にサテライトオフィスが立地するようになっていきます。奈良県内でも山間部の自治体が奈良県と連携をしてサテライトオフィス誘致に積極的に取り組んでいます。宇陀市もサテライトオフィス誘致に取り組んでみてはどうでしょうか。

A

市として前向きに取り組めるように検討をしていきたいと考えております。

● 意見

宇陀市を含む山間地域にはこまどりケーブルによる強靱なインターネット回線網があります。遊休施設や空き家となっている古民家もあります。それらを活用して、県内の自治体と連携しつつ、都市部のICT企業との連携をしていきましょう。ICT企業は今まで宇陀市に乏しかったホワイトワーカー向けの労働環境を生み出すことが出来ます。

宇陀クリーンセンターのごみ処理について

宇陀市には、2つのごみ焼却施設があり、大宇陀の宇陀クリーンセンターにおける地元とのごみ処理施設の稼働期限が平成29年8月末である中、宇陀市の今後のごみ処理施設については、一般廃棄物処理にかかる広域及び効果・効率的な観点から県と市町村が連携・協働して施設の統合を推進するための計画に、地元のご理解とご協力をいただき宇陀クリーンセンターの稼働期限を10年延長した上で市のごみ処理について検討してきました。

ごみ処理広域化については、平成28年11月に奈良県桜井・宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会が設立し、広域的な課題の解決に向け協議がされています。

このような状況下昨年11月に、平成30年4月から宇陀クリーンセンターのごみを桜井市のごみ処理場へ搬入する予定であるとの情報が入り、急遽、福祉産業常任委員会を開き、真意を聞いたところ桜井市との協議会でその様に検討しているとのことでした。

ごみ処理は、市民生活に直結する課題であり、ごみ処理場は市の財政に大きな影響を与えるものであり将来に渡って考慮する必要があります。

宇陀市議会としてはしっかりと検討したうえで結論を出すべきで、桜井市のごみ処理施設に平成30年4月から搬入することは、拙速であり中止するよう強く申し入れると共に12月議会より、福祉産業常任委員会で慎重に審議を進めています。



きかせて！あなたの未来

No. 11

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



私の夢は看護師です。現在、私は奈良県立医科大学医学部看護学科に通っています。看護師になるという夢と共に、英語が好きなので英語コースのある高校に通っていました。看護の道に進んでも英語を学びたいという希望があったので、英語などの教養科目を学ぶことができるこの大学を選びました。今は、奈良医大附属病院で働くという目標を持っています。看護師になっても進歩する医療を近くで学びたいです。学ぶ領域がたくさんあり、今はまだ進みたい分野を探し中です。また私は希望としていた成人式実行委員になり、自分たちで作り上げることに楽しさとやりがいを感じました。学んだことを大切に、夢の実現に向けて頑張ります。

すすき なお

薄木 菜桜さん（奈良県立医科大学医学部看護学科 2回生 菟田野）

募集します！

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

次回 3 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
				3/1	2	3
					本会議 (議案提案)	
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 (議案質疑)	常任 委員会	常任 委員会		
11	12	13	14	15	16	17
	予算 委員会	予算 委員会				
18	19	20	21	22	23	24
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
25	26	27	28	29	30	31
	本会議 (討論・採決)	予備日				

10：00開会（変更の場合があります）

編集 後記

編集委員
廣澤孝英

市民の皆さんに開かれた議会を目指し議会活動を知ってもらえるよう発行し始めた「議会だより」も今回で11号となりました。市議会では、議案審議と共に多くの行政課題への対応や市民からのご意見に応える活動に力を注いでまいりました。また、議会の会議の効率化、情報の共有化、紙資料の削減等を目的にタブレットを使用した会議システムの

導入など、議会改革を進めています。

昨年の12月議会において竹内市長が今期での退任の意向を示され、今年の4月には、市長、市議会の選挙が行われます。今後も安心して暮らしやすい魅力ある宇陀市にするため議員一同、皆様とともに歩んでまいります。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771

IP電話 0745-88-9082

FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<http://www.city.uda.nara.jp/>